

**令和7年度
「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議**

令和7年5月16日 「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議事務局

目次

1 議案第1号

令和6年度事業実績及び収支決算（案）について

P 2 – P 25

2 説明事項

令和7年度事業計画及び収支予算について

P 26 – P 35

令和6年度事業実績

令和6年度事業の基本的な考え方

本県の人口減少の大きな要因の1つが、進学・就職を契機とする若者の県外流出であることから、移住・定住の促進にあたっては、若者や子育て世代に焦点を当て、山口の暮らしやすさや子育て環境などの魅力を前面に出したプロモーション展開やお試し暮らし住宅の整備など、当該世代へのアプローチを強化する。

また、大都市圏からのテレワーク移住や、その裾野を広げるワーケーションや関係人口の創出・拡大に向けた取組を推進する。

移住の働きかけ・情報発信

- 「やまぐち暮らし支援センター」の運営
- 若い世代を呼び込む情報発信・PRツールの活用
 - ・SNS等のデジタル技術を活用した移住潜在層への戦略的情報発信
- 「やまぐち暮らしガイドブック」等の作成・配付
- 大都市圏での移住関連フェア等への出展・オンライン移住相談の実施

移住に向けた支援

- お試し暮らし住宅の整備
 - ・県営住宅を活用した若者・子育て世代向けの「お試し暮らし住宅」の整備
- YY！ターンセミナーの開催
 - ・オンライン方式による開催回数の増
- YY！ターン支援交通費補助の拡充
 - ・福岡県に加え、広島県からの自家用車による来県支援
- YY！ターンオーダーメイドツアーの実施

受入・定着支援

- 住まいのコンシェルジュの配置による相談体制の強化
- YY！ターンコンシェルジュによる定着支援
- YY！ターンパスポートによる経済的負担の軽減
- 地域おこし協力隊の定住支援
 - ・地域おこし協力隊OB・OGネットワークの体制整備
- 「やまぐち移住倶楽部」による移住者支援

関係人口の創出・拡大

- 山口つながる案内所の運営
- 県内地域とのマッチング・受入支援
- 関係人口来県支援交通費補助金

地方創生テレワークとワーケーションの一体的推進

- 「YY！SQUARE」（県庁1階）「YY！GATEWAY」（山口宇部空港）の運営
 - 県内事業者と連携した「山口型ワーケーション」の推進
 - イベント等の開催による都市部企業・就業者へのPR
- 《参考：県予算事業》
やまぐち創生テレワーク移住補助金 / テレワーク移住支援金

令和6年度の相談体制

○移住相談拠点 「やまぐち暮らし支援センター」



やまぐち暮らし総合支援センター

山口県山口市小郡令和1-1-1 KDDI維新ホール3階
TEL 083-976-0277 <http://www.joby.jp/uturn/>



やまぐち暮らし東京支援センター

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
NPO法人ふるさと回帰支援センター内
TEL 03-6273-4887 <http://oidemase-t.jp/uji/>



やまぐち暮らし大阪支援センター

大阪府大阪市北区梅田2-4-13 阪神産経桜橋ビル2階
TEL 06-6341-0755
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16100/oosaka/201603300001.html>



大阪ふるさと暮らし情報センター

大阪府大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪 1階
TEL 090-1599-3111 <https://www.osaka-furusato.com/>



「やまぐち」のY、「わいわい楽しい暮らし」のYを組み合わせ、山口県へのUJIターンを意味するキャッチフレーズです。

○関係人口案内所 「山口つながる案内所」

山口つながる案内所

東京都中央区日本橋2-3-4 山口県アンテナショップ「おいでませ山口館」内
TEL : 070-3994-4098 <https://www.ymg-tunagaru.jp/>
対応時間：平日10:30～14:30

○「住まいのコンシェルジュ」、「YY!ターンコンシェルジュ」の配置

・住まいに関する専門相談や移住者の定着に向けたきめ細かな支援のため、県内に配置



1 移住の働きかけ・情報発信（1）

○大都市圏での移住関連フェア等への出展

- ・各種団体が主催する、自治体が一堂に会する移住関連フェアに出展

区分	九州・山口・沖縄合同移住フェア 暮らしゴト2024	おいでや！いなか暮らしフェア2024	やまぐちと津和野のんびり移住Life2024	やまぐち農林水産業新規就業ガイダンス	ひろしま広域都市圏移住フェア2024	ふるさと回帰フェア2024	中国四国もうひとつのふるさと探しフェア	九州・山口合同移住相談会	JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024
会場	東京	大阪	東京	山口	東京	東京	大阪	大阪	東京
主催者	ふるさと回帰支援センター	ふるさと回帰支援センター	山口県央連携都市圏域移住・定住PT	山口県、やまぐち農林振興公社ほか	広島市、広島県、広島県交流・定住促進協議会	ふるさと回帰支援センター	中国四国共同移住・交流フェア実行委員会	九州・山口合同移住相談会実行委員会	移住・交流推進機構 (JOIN)
日程	6/2	7/20	7/28	8/4	9/7	9/21-22	10/19	11/17	12/7-8
出展市町数等	県民会議 4市	県民会議 8市1町	県民会議 6市	10市3町	県民会議 2市3町	県民会議 10市1町	県民会議 4市4町	県民会議 6市1町	県民会議 5市1町
参加者数	465名	2,469名	123名	58名	182組	28,800名	165名	178名	3,358名
相談者数 (計1,412名)	105名	137名	112名	58名	68名	481名	81名	62名	308名

○オンライン移住相談の実施

- ・コロナ禍を契機に、地方への関心が高まっている都市部の若者等のニーズに対応するため、やまぐち暮らし東京支援センターにオンライン移住相談窓口を開設

【内容】 オンライン上のカレンダーから予約可能

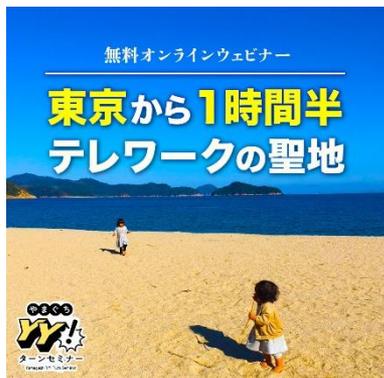
【対応時間】 平日 9:00～20:00 土日 10:00～18:00

【相談実績】 82件

1 移住の働きかけ・情報発信（2）

○ 様々な発信ツールを用いた情報提供

- 山口県の移住支援策をまとめたサイトの公開
- Web広告を通じたYY!ターンセミナーの告知・集客
- ダイレクトメールによる相談者への継続的な情報発信
- ガイドブックやポスターなどPRツールの作成・配布・掲出



1 移住の働きかけ・情報発信（3）

○ やまぐちYY！ターンセミナーの開催（現地セミナー・オンライン移住体験ツアー）

・本県への移住に関心を持つ層を着実に移住につなげられるよう、テーマ設定し、講座を開催

日程	テーマ	タイトル	参加市町・団体	参加者数 計429名 (うちWeb224名)
8/3	テレワーク移住 (ハイブリッド開催)	テレワークの新しい聖地！山口の魅力	周南市、周防大島町	35名 (うちWeb15名)
9/8	オンライン移住体験ツアー (Web開催)	瀬戸内海と日本海を唯一楽しめる移住地	山口市、萩市、防府市、光市、長門市、山陽小野田市	Web67名
10/26	地域づくり (ハイブリッド開催)	好奇心を刺激する生活 この生き方が一番ワクワクする	下関市、山陽小野田市、周防大島町	45名 (うちWeb28名)
11/16	起業 (ハイブリッド開催)	地域に根ざす、ニーズから生まれた 起業のカチ	山口市、萩市、岩国市、和木町、やまぐち産業振興財団	56名 (うちWeb22名)
12/14	住まい・空き家 (ハイブリッド開催)	空き家の発見奮闘記！地方移住の住まい探しの秘訣！	美祢市、周防大島町、県民生活課	42名 (うちWeb22名)
1/19	農林業就業 (ハイブリッド開催)	思いがけずハマった農業の魅力 山口で見つけた自分らしい生活	山口市、萩市、防府市、岩国市、周防大島町、阿武町、やまぐち農林振興公社、やまぐち森林担い手財団ほか農業法人、農林業関係団体等	67名 (うちWeb24名)
2/19	デジタル人材 (ハイブリッド開催)	DXに邁進する山口県！注目の人材・企業の最前線キャッチアップと社会課題解決セミナー	防府市	117名 (うちWeb46名)

1 移住の働きかけ・情報発信（4）

○ オンラインセミナー

日程	テーマ	タイトル	参加市町	参加者数 計114名
6/26	絶景海岸線シリーズ	山口の絶景海岸線！第3回：3人の海好きが語る「長門の海」とは	長門市	40名
7/23	絶景海岸線シリーズ	山口の絶景海岸線！第4回：3人の海好きが語る「山口の海」とは	山口市	22名
8/27	絶景海岸線シリーズ	山口の絶景海岸線！第5回：3人の海好きが語る「柳井の海」とは	柳井市	28名
11/7	暮らし	A B Uノーマルな暮らし	阿武町	24名

○ 大阪移住関連セミナー（委託先：関西-山口ネットワーク推進協議会）

日程	テーマ	タイトル	参加市町・団体	参加者数 計89名 (うちWeb41名)
11/21	デジタル人材	DXに邁進する山口県！注目の人材・企業の最前線キャッチアップと社会課題解決セミナー	デジタル政策課	77名 (うちWeb41名)
12/10	テレワーク移住	都市から地方へコスパ良く賢くする方法	防府市、長門市	12名

2 移住に向けた支援

○ YY！ターン支援交通費補助制度（H28～）

・県外在住の移住希望者が山口県を訪れる際の交通費を補助

【概要】

- ・対象者：県外に在住する移住希望者
- ・対象事業：①移住に関するツアー ②移住に関するセミナー・フェア・イベント
③暮らし体験、下見 ④就職面接、就農林漁業面接
- ・対象経費：居住地と本県の往復において、公共交通機関等を利用した移動経費
- ・基準額：5千円～3万円



区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
件数	136	195	176	174	95	123	198	222	258	1,577
人数	168	238	229	223	125	174	277	306	370	2,110

○ YY！ターンオーダーメイドツアー（H29～）

・県・市町・関係団体等の連携により、移住希望者のニーズに応じた体験ツアーを企画・実施

区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
件数	23	26	22	27	39	46	51	48	282
人数	25	26	39	43	58	64	90	101	446

2 移住に向けた支援

○ お試し暮らし住宅の整備・運用（R6～）

- ・やまぐち暮らしを体験してもらい、円滑な移住・定住につなげるため、県外在住で、本県への移住を検討する若者・子育て世帯向けに、県営住宅を活用した「お試し暮らし住宅」を整備

【対象県営住宅】

- ・3 地域：防府市・高井、光市・光井、美祢市・来福台（各3LDK）

【入居要件】

①入居条件

区分	若者世帯	子育て世帯
年齢	18歳以上39歳以下（単身も可）	18歳未満の子を持つ世帯
その他条件	○本県の移住施策への協力 ・山口暮らしの魅力等を県公式SNS等で情報発信 ・定期的なヒアリングやアンケート回答等 ○地域活動（自治会、イベント等）への積極的な参加	

②入居期間

1ヶ月以上、1年未満

③利用料

月額1万円（光熱水費、通信費、共益費、自治会費の自己負担あり）

【入居実績】

- ・令和6年8月上旬から入居募集を開始し、これまで、3戸各1組入居。



3 受入・定着支援（1）

○「YY！ターンコンシェルジュ」の配置

・移住希望者が安心して移住・定住できるよう、県内にコンシェルジュを配置し、それぞれの専門分野を活かしながら相談の段階から寄り添った支援を実施

【業務内容】

- ①移住者個々の実情・希望に応じた具体的なアドバイス
- ②関係機関等への斡旋・マッチング
- ③交流会等の開催を通じた移住者同士の交流促進 等

区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
相談件数	326	525	291	406	132	471	2,151

やまぐちYY!ターン(UJ!ターン)パスポート



〈電子版〉



〈カード版〉

○「やまぐちYY！ターンパスポート」による支援（H27～）

・協賛企業等と連携して移住に伴う経済的負担に対する支援などを行い、本県への移住・定住を促進

【サービス概要】

- ・引っ越し代割引 ・ローン金利優遇 ・新車購入時のオプションプレゼント
- ・レンタカー代割引 ・宿泊代割引 ・賃貸住宅契約金割引 等

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
件数	237	210	215	189	115	158	167	186	149	149	1,775

3 受入・定着支援（2）

○ 地域おこし協力隊の定住支援

①定住セミナーの開催

- ・ 任期終了を迎えた地域おこし協力隊の定住促進を図るため、隊員を対象としたセミナーを開催

日程	テーマ	参加者
7/5	地域や行政とのコミュニケーション・連携について	37名
9/11	任期終了後の資金調達方法について	22名
11/20	地域おこし協力隊ネットワークに関するワークショップ	19名



②地域おこし協力隊 P R イベント「Sweet & Spicy マーケット2024」の開催

- ・ 地域おこし協力隊の活躍を広く発信し交流を促進するため、マルシェイベントを開催（※文化芸術体験交流イベント『ダンス☆オン☆きらら』と同時開催）

【日程】 12/15 【場所】 山口きらら博記念公園



【参考】直近5年間の任期終了者の定住率（H31.4.1～R6.3.31に任期終了した隊員の定住状況）

区分	任期終了者	定住者（※）	定住率
全国	8,036	5,544	69.0%
山口県	122	89	73.0%

出典：総務省「令和6年度地域おこし協力隊の定住状況等に係る調査結果」
※活動地と同一市町に定住した者と活動地の近隣市町内に定住した者の計

3 受入・定着支援（3）

○ やまぐち移住倶楽部の運営

- ・移住者同士で交流、情報交換、相談を行える移住者のネットワークである「やまぐち移住倶楽部」の運営

<交流会の開催>

日程	開催市	内容	参加者数
8/11	長門市	長門湯本温泉納涼盆踊り大会 移住定住チームで盆踊りに参加	21名
11/3	美祢市	ナイトベーカリー 移住者のパン屋での交流会	17名
12/15	山口市	地域おこし協力隊PRイベントに合わせ、情報交換&交流会を開催	10名※

○ 移住者交流会の開催

※山口市イベントでの参加者数は新規入会申込者数で記載

- ・移住者と地域住民等との交流の促進を図ることを通じ、定住支援を強化

市町名	日程	内容	参加者数	市町名	日程	内容	参加者数
宇部市	4/27	マテ貝をとろう	36名	長門市	4/20	春の染め物体験・カフェ交流会	20名
	6/16	田植え体験	8名		12/21	長門ゆずきち蒸留体験会	16名
	9/15	ナイトピクニック	20名	柳井市	3/30	移住者交流会	11名
	11/24	吉部の新米でかまどごはん	12名	美祢市	12/10	移住後の相談交流会	12名
	3/29	レザークラフト	5名		12/22	クリスマスナイトカフェ	26名
5/11	農家の暮らし体験	29名	12/30		移住1年目の集い	11名	
山口市	6/25	DIYに取り組む移住者との交流	22名	3/7	移住者と移住検討者の交流会	10名	
	11/24	今こそ巡る山口近代建築 交流会	10名		延べ計	320名	
	3/8	チーズケーキ作り、交流会	15名				
萩市	8/24	酒粕を使った入浴剤作り	25名				
	10/11	島内観光、食事をしながらの観光	16名				
	3/1	地域交流拠点の見学、抹茶体験	16名				

4 関係人口の創出・拡大（1）

○「山口つながる案内所」による情報発信及び登録促進

・「山口つながる案内所」の設置

〔開設日〕 令和2年7月1日

〔場所〕 おいでませ山口館内（東京都中央区日本橋）

〔登録者数〕 1,654人（令和7年3月末時点）



〈業務内容〉

【情報発信】

- ・ 関係人口についての紹介、県事業、ふるさと納税、農山漁村体験、ワーキングホリデー、地域おこし協力隊など、関係人口に関連する様々な情報を発信

【登録促進】

- ・ 来館者への登録案内、山口県にゆかりのある企業・個人へのアウトリーチによる登録促進

【県・市町・関係団体等への情報提供】

- ・ 県・市町の取組、地域の募集プロジェクトの参加記事等を紹介

各SNSを活用した情報発信



4 関係人口の創出・拡大（2）

○ マッチング支援

- ・ 地域の課題解決や活性化を目指す地域と都市部人材等（関係人口登録者）のマッチングを行い 県内3か所でマッチング事業を実施

地域	実施時期	団体	参加人数	実施内容
萩市 むつみ	10/5～6	酒米みがき協同組合	8名	酒米の稲刈り、酒蔵・酒米生産者との交流など
美祢市 大田	9/14～15	M A C I U M	8名	地域住民への聞き取りを通じた集落の教科書作成など
長門市 仙崎	9/13～14	大津あきら顕彰会	6名	青春音楽祭の企画・運営・出演 仙崎まちあるきなど



4 関係人口の創出・拡大（3）

○ 関係人口来県交通費補助制度

- ・ 県外在住者が地域課題の解決や地域活性化のために本県の地域活動に参加する場合に、居住地から山口県内への往復交通費を補助

【制度概要及び実績】

区分	内容
対象者	以下の要件を全て満たす者 ①山口県外に居住している者 ②「山口つながる案内所」に関係人口として登録した者 ③補助対象事業のために来県した者 ④その活動内容をSNS等で発信した者
補助対象事業	以下の全ての要件に該当する地域活動 ①地域の課題解決や活性化のために実施するもの ②「山口つながる案内所」ホームページに登録しているもの
補助対象経費	居住地から山口県内への往復交通費(公共交通機関を利用した実費に限る)
補助率	対象経費の1/2（上限3万円/人）
交付実績	61人



5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進（1）

地方創生テレワーク

ワーケーション

施設運営

■ やまぐち創生テレワークオフィス「YY! SQUARE」

- 都市部企業に勤務しながら、リモートワークで山口に居住して働く「転職なき移住」を実現するためのモデルオフィス



■ やまぐちワーケーション総合案内施設「YY! GATEWAY」

- コンシェルジュによる相談対応から受入サポート
- コワーキングスペースとしても利用可能



主な取組

■ 県内テレワーク施設との連携

- 県内関連施設のネットワーク化や一体的なPRの推進
- 都市部テレワーカー等の受入環境の整備・充実

■ 機運醸成、施設の利用促進

- WEBセミナー開催やSNSを活用した情報発信・拡散

■ 山口型ワーケーションの推進

- ターゲット層を拡大した新たなワーケーションプログラム・ツアーの創出
- 誘客拡大に向けた首都圏等でのプロモーション

情報発信

■ 首都圏企業等に対するプロモーションや情報発信

- 大都市圏イベント、WEB広告やSNSを活用したPR

■ 山口県テレワーク・ワーケーション総合案内サイト

- サイトを通じた、山口県のテレワーク・ワーケーション環境のPR



5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進（2）

○ やまぐち創生テレワークオフィス「YY!SQUARE」の運営

【設置場所】山口県庁本館棟 1階 県民ホール

【営業時間】8:30～17:15（土・日、祝日、年末年始を除く）

【主な設備】40席、Wi-Fi、電源、複合機、給茶機、ディスプレイモニター等

【利用実績】R6利用者数…7,722人（1日平均31.8人）

・利用者ミニ交流会の開催（計6回開催）



○ WEBセミナー等を活用した情報発信

日時	テーマ	参加者数
11/28	イキイキ！ライフスタイルを叶える 山口県でのテレワークの魅力とは？	63名



○ 県内テレワーク施設との連携

・県内テレワーク施設のイベント情報の発信

・拠点施設を活用した施設関係者等の交流イベントの開催



5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進 (3)

○ やまぐちワーケーション総合案内施設「YY!GATEWAY」の運営

【設置場所】山口宇部空港国内線ターミナルビル2F

【営業時間】9:00～18:00（日曜日、年末年始を除く）

【主な設備】16席、Wi-Fi、電源、ディスプレイモニター 等

【利用実績】R6利用者数…3,969人（1日平均12.9人）



○ 施設を活用した付加価値サービスの検討

・施設の特性を活かしたサービスの提供によるマネタイズ化を検証

商品・サービスの展示による活用	6事業者
セミナー・イベント会場としての活用	6事業者



○ プロモーション活動

・都市圏大規模イベント（ツーリズムEXPOジャパン）でのPR

・WEBサイトやSNSの活用



ツーリズムEXPOジャパンの様子



SNSを活用した事業者インタビュー動画の発信



プログラム参加の利便性向上に向けた
総合案内サイトの改修

5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進（4）

○ターゲット層を拡大した新たなワーケーションプログラム・ツアーの創出

「親子」や「スポーツ」をテーマに、山口きらら博記念公園を活用したモニターツアーを催行

【親子ワーケーション】

対象	時期	主なプログラム内容	参加者
小学校高学年向け	7/22～7/24	親子でデイキャンプ、Mine秋吉台ジオツアー、泥干潟観察、サッカー教室	7組16名
小学校低学年向け	9/6～9/8	小学校体験入学、忍者学校プログラム、親子でマリンスポーツ	7組16名

【スポーツワーケーション】

対象	時期	主なプログラム内容	参加者
企業向け	10/6～10/8	竹ラボでサステイナブルを学ぶ研修プログラム、ウォーキング教室	8名
企業向け	1/26～1/27	Mine秋吉台ジオツアー、ウォーキング教室	11名



親子でマリンスポーツ



雑誌「プレジデントFamily」に取材掲載



ウォーキング教室

6 取組の成果 (1)

○ 移住に関する相談受付状況

- ・県民会議設立前（H26：3,500件）と比べ、約4倍の14,048件に増加
- ・月平均では1170.7件

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
山口県 (※1)	1,275	2,027	2,266	2,625	2,836	2,719	2,810	3,484	3,881	3,447	4,033
うち移住 相談	294	624	690	1,218	1,343	1,604	1,709	2,438	2,735	2,441	3,042
うち求職 相談	981	1,403	1,576	1,407	1,493	1,115	1,101	1,046	1,146	1,006	991
市町 (※2)	2,225	2,731	3,293	4,137	5,936	6,121	7,295	7,183	7,718	8,965	10,015
合計	3,500	4,758	5,559	6,762	8,772	8,840	10,105	10,667	11,599	12,412	14,048
(月平均)	291.7	396.5	463.3	563.5	731.0	736.7	842.1	888.9	966.6	1034.3	1170.7

※1 山口県分は、「やまぐち暮らし支援センター」（東京・大阪・山口）及びYY!ターンコンシェルジュが受け付けたもの

※2 市町分は各市町の移住担当窓口で受け付けたもの

6 取組の成果 (2)

【2024年】移住希望地ランキング（NPO法人ふるさと回帰支援センター発表）

- 新規セミナー参加者数は、19位から6位へと大幅ランクアップ。 中国・四国地区：2位 西日本：3位
- 新規窓口相談者数は、10位。 中国・四国地区：1位 西日本：2位

2021年				2022年				2023年				2024年			
順位	相談	順位	セミナー												
1位	静岡県	1位	広島県	1位	静岡県	1位	広島県	1位	静岡県	1位	群馬県	1位	群馬県	1位	群馬県
2位	福岡県	2位	愛媛県	2位	長野県	2位	新潟県	2位	群馬県	2位	愛媛県	2位	静岡県	2位	福島県
3位	山梨県	3位	長野県	3位	栃木県	3位	愛媛県	3位	栃木県	3位	和歌山県	3位	栃木県	3位	広島県
4位	長野県	4位	北海道	4位	山梨県	4位	長野県	4位	長野県	4位	新潟県	4位	長野県	4位	長野県
5位	群馬県	5位	福島県	5位	福岡県	5位	静岡県	5位	宮城県	5位	長野県	5位	福岡県	5位	和歌山県
6位	広島県	6位	静岡県	6位	広島県	6位	北海道	6位	福岡県	6位	高知県	6位	北海道	6位	山口県
7位	宮城県	7位	和歌山県	7位	宮城県	7位	高知県	7位	北海道	7位	広島県	7位	宮城県	7位	富山県
8位	岐阜県	8位	佐賀県	8位	和歌山県	8位	和歌山県	8位	山梨県	8位	福島県	8位	山梨県	8位	愛媛県
9位	栃木県	9位	新潟県	9位	群馬県	9位	福島県	9位	山口県	9位	北海道	9位	福島県	9位	北海道
10位	神奈川県	10位	群馬県	10位	神奈川県	10位	富山県	10位	広島県	10位	静岡県	10位	山口県	10位	静岡県
11位	福島県	11位	山梨県	11位	岐阜県	11位	岩手県	11位	和歌山県	11位	佐賀県	11位	広島県	11位	岩手県
12位	和歌山県	12位	山形県	12位	北海道	12位	佐賀県	12位	福島県	12位	富山県	12位	和歌山県	12位	山形県
13位	山口県	13位	神奈川県	13位	富山県	13位	岡山県	13位	富山県	13位	岩手県	13位	千葉県	13位	新潟県
14位	鹿児島県	14位	石川県	14位	熊本県	14位	群馬県	14位	神奈川県	14位	栃木県	14位	東京都	14位	熊本県
15位	富山県	15位	富山県	15位	山口県	15位	栃木県	15位	千葉県	15位	熊本県	15位	富山県	15位	鹿児島県
16位	北海道	16位	山口県	16位	千葉県	16位	山形県	16位	岐阜県	16位	岡山県	16位	兵庫県	16位	栃木県
17位	京都府	17位	宮崎県	17位	鹿児島県	17位	神奈川県	17位	熊本県	17位	香川県	17位	神奈川県	17位	香川県
18位	熊本県	18位	鹿児島県	18位	茨城県	18位	石川県	18位	兵庫県	18位	宮城県	18位	鹿児島県	18位	高知県
19位	宮崎県	19位	岩手県	19位	兵庫県	19位	鳥取県	19位	鹿児島県	19位	山口県	19位	熊本県	19位	宮城県
20位	新潟県	20位	栃木県	20位	滋賀県	20位	香川県	20位	茨城県	20位	石川県	20位	岐阜県	20位	青森県

n = 5,467

n = 6,144

n = 6,746

n = 7,886

n = 8,164

n = 10,070

n = 11,782

n = 13,349

※ ふるさと回帰支援センター窓口相談者・セミナー参加者アンケートより集計（複数回答）

6 取組の成果 (3)

○ 転入者アンケート等による移住者数

・令和6年度は4,578人が本県へ移住

【移住者数の推移】

(単位：人)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人数	1,615	1,745	2,097	3,100	3,230	3,588	3,655	4,312	4,578

【各市町別の状況 (R6)】

(単位：人)

下関	宇部	山口	萩	防府	下松	岩国	光	長門	柳井
603	1,287	869	678	161	67	101	52	60	129

美祢	周南	山陽小野田	周防大島	和木	上関	田布施	平生	阿武	合計
192	104	200	20	8	8	32	5	2	4,578

※移住者の計上方法は、各市町の住民異動窓口でのアンケート等により把握できた県外からの転入者のうち就学と転勤による者を除いた数

※人気移住地域ランキング「SMOUT移住アワード2024」

都道府県部門で、山口県は全国4位

(発信した移住関連情報について、一般ユーザーが、「ファボ(興味ある)」した合計数)

令和6年度「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議 収支決算（案）

1 収入の部

（単位：円）

区分	予算額	決算額	増減額	備考
負担金収入	184,873,000	173,437,000	△11,436,000	県負担金
雑収入	90,000	125,305	35,305	お試し暮らし住宅使用料・受取利息等
前年度繰越金	1,368,323	1,368,323	0	
計	186,331,323	174,930,628	△11,400,695	

2 支出の部

（単位：円）

区分	予算額	決算額	増減額	備考
移住希望者への住まいの相談支援事業費	15,935,000	7,542,737	△8,392,263	委託費等
「住んでみいね！ぶちええ山口」YY!ターン推進事業費	71,397,000	65,959,940	△5,437,060	委託費・補助金等
関係人口創出・拡大事業費	13,875,000	12,492,667	△1,382,333	委託費・補助金等
やまぐち創生テレワーク・ワーケーション推進事業費	83,666,000	82,952,634	△713,366	委託費
事務局運営費等	1,458,323	1,304,750	△153,573	消耗品費等
計	186,331,323	170,252,728	△16,078,595	

収入決算額 174,930,628円
 支出決算額 170,252,728円
 差引 4,677,900円
 翌年度繰越額 4,677,900円

監査報告

「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議における令和6年度会計について、証拠書類及び諸帳簿を監査した結果、その内容は適正であると認めます。

令和7年 4月 24日

「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議監事

山口県会計管理者 兼清宏之 

令和7年度事業計画

令和7年度事業の基本的な考え方

本県の転出入の状況を見ると、20代の若者を中心とする転出超過が拡大しており、特に福岡県への転出超過が最も大きいという状況である。そこで、東京、大阪、山口に加え、新たに福岡に移住と仕事の相談窓口を設置するほか、観光と連携し、継続的かつ多頻度な来訪を促す「第2のふるさとづくり」の推進や、若者の地域での交流や活躍の場となる「サードプレイス」のモデルを創出することにより、若者の移住・定住の促進に取り組む。

また、大都市圏からのテレワーク移住や、その裾野を広げるワーケーションに向けた取組を推進する。

移住の働きかけ・情報発信

拡 やまぐち暮らし・しごと支援センターでの相談対応（東京・大阪・山口 **新** 福岡）

- 住まいのコンシェルジュの配置
- 拡** SNS等を活用した情報発信
- YY!ターンセミナーの開催
- 移住関連フェア等への出展

移住に向けた支援

- お試し暮らし住宅の整備
- YY!ターン支援交通費補助金
- YY!ターンオーダーメイドツアー

受入・定着支援

- 新** やまぐち若者サードプレイスモデルの創出
- YY!ターンコンシェルジュによる定着支援
- 拡** YY!ターンパスポートの支援拡充
- やまぐち移住倶楽部の運営
- 拡** 地域おこし協力隊の定住支援

関係人口の創出・拡大

【観光客や都市部へのアプローチ】

- 山口つながる案内所の運営

- 新** 観光客に向けた地域との関わりを深める情報の発信
- 新** 都市部での出張案内デスクの設置

【継続的・多頻度な来訪の促進】

- 新** 年間を通じた地域とつながる体験型プログラムの実施
- 新** 第2のふるさとづくり応援交通費補助金

テレワークとワーケーションの一体的推進

- 「YY! SQUARE」（県庁1階）「YY! GATEWAY」（山口宇部空港）の運営
- 県内事業者と連携した「山口型ワーケーション」の推進
- 都市部企業・就業者へのPR

《参考：県予算事業》

やまぐち創生テレワーク移住補助金 / テレワーク移住支援金

事業概要 (1)

○ 移住の働きかけ・情報発信

新たに福岡に相談窓口を設け、相談体制を強化するとともに、若者や子育て世代の興味・関心が高いショート動画の制作・配信など、デジタルマーケティングを活用した戦略的な情報発信を行うほか、YY!ターンセミナーの開催や移住関連フェア等への出展を通じて、段階的に移住熟度を高めていく。

(予算額：84,220千円)

区分	主な事業内容
拡 「やまぐち暮らし・しごと支援センター」での相談対応	○ 「やまぐち暮らし・しごと支援センター」を東京、大阪、山口に加えて、新たに福岡に設置し、きめ細かな相談対応やフォローを実施
住まいのコンシェルジュの配置	○ 県内の住まいに関する相談や物件の紹介に一元的かつ専門的に対応する住まいのコンシェルジュを配置
拡 SNS等を活用した情報発信	○ デジタルマーケティングを活用したデータ分析に基づくSNSやWeb広告の活用による戦略的情報発信 ・若者の興味・関心の高い移住促進のショート動画を制作・配信
YY!ターンセミナーの開催	○ 若者や子育て世代の移住希望者のニーズや、移住関心層のトレンドに応じたテーマを設定し、やまぐち暮らしに関するセミナーをリアルとオンラインで開催 ○ 企業や大学と連携した新しいスタイルのセミナーを開催
移住関連フェア等への出展	○ ふるさと回帰支援センター等の移住関係団体が主催する移住関連フェアに出展し、やまぐち暮らしのPRと移住相談対応を実施

事業概要 (2)

○ 移住に向けた支援

移住希望者に「やまぐち暮らし」を体感してもらうため、若者・子育て世帯向けの「お試し暮らし住宅」を整備するほか、移住の下見等に係る来県交通費補助や移住希望者のニーズに応じたオーダーメイドツアーを実施する。

(予算額：9,894千円)

区 分	主 な 事 業 内 容
お試し暮らし住宅の整備	○ 県営住宅を活用した若者・子育て世帯向けのお試し暮らし住宅の整備
YY!ターン支援交通費補助金	○ 県外在住の移住希望者が移住先候補地に対する理解を深め、移住・定住の検討を進めるため、山口県を訪れる際の交通費を補助 (移住に関するツアー、セミナー、お試し暮らし体験、下見等) ・定額制：実費と基準額を比較して低い方の額 ・基準額： 北海道・東北圏3万円、首都圏2万円、 北陸圏・中部圏1.5万円、近畿圏・四国圏・沖縄県1万円、 中国圏・九州圏5万円
YY!ターンオーダーメイドツアー	○ 移住希望者のニーズに応じた現地体験ツアーの企画・実施

事業概要 (3)

○ 受入・定着支援

若者の県内定着やふるさと回帰を促進するため、地域での交流や活躍の場となる「サードプレイス」のモデルを創出するほか、本県への移住希望者が移住を実現し、移住後も安心して住み続けられるよう、引き続き、「YY！ターンコンシェルジュ」による伴走支援や、「やまぐち移住倶楽部」を中心とした交流会の開催、地域おこし協力隊の定住支援等を実施する。

(予算額：19,636千円)

区分	主な事業内容
新 やまぐち若者サードプレイスモデルの創出	<ul style="list-style-type: none">○ <u>市町等と連携した、サードプレイスのモデルの創出</u>○ <u>若者の定住やふるさと回帰につながるプログラムの実施</u>
YY!ターンコンシェルジュによる定着支援	<ul style="list-style-type: none">○ 移住の相談段階から定住に至るまでの寄り添った支援を実施するYY!ターンコンシェルジュを県内に配置
拡 YY!ターンパスポートの支援拡充	<ul style="list-style-type: none">○ <u>連携する協賛企業等を拡充し、移住に伴う経済的負担の支援</u>
「やまぐち移住倶楽部」の運営	<ul style="list-style-type: none">○ 移住者交流会など移住者同士が交流し、情報交換できる体制を整え、安心して住み続けられる環境を整備
拡 地域おこし協力隊の定住支援	<ul style="list-style-type: none">○ <u>やまぐち地域おこし協力隊ネットワークによるアドバイザー派遣</u>○ 任期満了を迎える協力隊の定住促進を図るためのセミナー開催○ 地域おこし協力隊の活動等に関する情報発信○ 協力隊経験者が出店するマルシェ等のイベントの実施

事業概要 (4)

○ 関係人口の創出・拡大 (第2のふるさとづくりの推進)

観光分野における注目の高まりを好機と捉え、観光と移住が連携し、「交流人口」を「関係人口」へと発展させ、さらにその先の移住・定住につなげるため、継続的かつ多頻度な来訪を促す「第2のふるさとづくり」を推進する。

(予算額：25,062千円)

区 分	主 な 事 業 内 容
「山口つながる案内所」の運営	○ 東京日本橋の「おいでませ山口館」内に設置する「山口つながる案内所」を拠点に、山口県とつながるための情報発信を行い、関係人口の登録を促進
新 観光客が地域との関わりを深める情報発信	○ <u>地域に関心のある観光客や観光サイト閲覧者に対して、体験型プログラムなど、地域とのつながりに関連する情報を発信</u>
新 都市部での出張案内デスクの設置	○ <u>都市部へのアプローチ強化のため、観光PRイベント等の実施に合わせて、出張案内デスクを設置</u>
新 地域とつながる体験型プログラムの実施	○ <u>年間を通じ継続的かつ多頻度な来訪を促し、地域との関係性を深める体験型プログラムを実施</u>
新 第2のふるさとづくり応援交通費補助金	○ <u>体験型プログラム等に参加するため、公共交通機関等を利用して来県された方に対し、年3回を上限に交通費を支援</u>

事業概要（5）

○ やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進

時間や場所にとらわれない「働き方の新しいスタイル」の普及や、地方移住への関心の高まりを好機と捉え、本県への新たな人の流れを創出・拡大するため、地方創生テレワークとその裾野を広げるワーケーションを一体的に推進する。

（予算額：82,666千円）

区 分	主 な 事 業 内 容
テレワークオフィス「YY! SQUARE」 ワーケーション総合案内施設 「YY!GATEWAY」の運営	<ul style="list-style-type: none">○ コンシェルジュによる相談対応や県内関連施設の総合案内○ 県内施設等の利用促進に向けたイベントの開催やPRの実施○ 「山口県テレワーク・ワーケーション総合案内サイト」の運営 (県内関連施設とのネットワーク構築等)
県内事業者と連携した「山口型 ワーケーション」の推進	<ul style="list-style-type: none">○ 県内事業者によるワーケーションプログラム・ツアーの販売強化○ 若者・子育て世代をターゲットに山口きらら博記念公園やMine 秋吉台ジオパークを活用したワーケーションプログラムの実施
都市部企業・就業者へのPR	<ul style="list-style-type: none">○ テレワーク移住の促進に向けた都市部企業等への情報発信○ 大都市圏で開催されるワーケーション関連イベントへの出展○ 民間事業者のリソースやWeb広告の活用

令和7年度「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議 収支予算（案）

1 収入の部

（単位：円）

区 分	予算額	備 考
負担金収入	221,828,000	・県負担金
雑収入	120,000	・お試し暮らし住宅使用料
前年度繰越金	4,677,900	
計	226,625,900	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	予算額	備 考
暮らしと仕事の新たな相談拠点整備事業費	29,890,000	・福岡県の相談拠点整備費 ・情報発信経費 等
第2のふるさとづくり推進事業費	25,062,000	・体験型プログラム実施経費 ・第2のふるさとづくり推進応援交通費補助金 等
やまぐち若者サードプレイス創出事業費	4,000,000	・サードプレイスモデル創出・運営費 ・若者向けプログラム実施経費 等
移住希望者への住まいの相談支援事業費	8,000,000	・住まいのコンシェルジュの配置経費 ・お試し暮らし住宅の運営 等
「住んでみいね！ぶちええ山口」YY!ターン推進事業費	71,860,000	・やまぐち暮らし・しごと支援センターの運営費 ・YY！ターンセミナー開催経費 等
やまぐち創生テレワーク・ワーケーション推進事業費	83,016,000	・「YY！SQUARE」「YY！GATEWAY」の運営費 ・ワーケーションツアーの造成経費 等
事務局運営費等	4,797,900	・事務費等
計	226,625,900	

”やまぐちにずっと住みたい!”
を応援

やまぐち若者 定住応援事業

住宅ローンの返済利息を支援

最大12万円/年 を補助

山口県では、県内で住宅ローンを利用して新たに住宅を取得（建築、購入）した29歳以下の方を対象に、返済利息額の1/2を補助します。

対象 令和7年4月1日以降に居住を開始し、満29歳以下※の方が対象です。
(夫婦の場合は、いずれかが満29歳以下の世帯※が対象となります。)
※年度末に満30歳に達する方は除きます。

申請期間 居住後3か月以内に申請してください。
※R7.4月～6月に居住を開始した方は、9月30日までに申請してください。

山口県総合企画部中山間・地域振興課

詳細はこちら



☎ 083-933-2549

やまぐち若者定住応援

受付時間/8:30～17:15 <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/30/294409.html>

●補助の主な要件

- 自ら居住する目的で住宅ローンにより住宅を取得し、令和7年4月1日以降に当該住宅に居住した方
- 満29歳以下の方又は申請者と同居する配偶者等が満29歳以下の方（※年度末に満30歳に達する方は除く）
- 居住した日から5年以上当該住宅に居住する意思を持ち、生活の本拠を置く方
- 県税及び市町税について滞納がないこと
- 暴力団対策法（平成3年法律第77号）に規定する暴力団員でないこと 等



●補助額等

補助額	算定する期間	補助上限額
返済利息額の1/2	毎年1月～12月 ※R7年度は4～12月	12万円/年(返済月数×1万円) ※R7年度は最大9万円

●補助対象期間

【例】R7.4～12月の実返済額 計216,000円の1/2=10万8千円 > (R7年度上限額) 9万円
→ 上限額の9万円を補助

◎申請者又は配偶者等が居住を開始した月から、満29歳に達する年度の3月までの間が対象です。

●申請方法

いずれかの方法により申請してください。 ※申請受付は、令和7年7月に開始予定です。

- ◎「やまぐち電子申請システム」によるオンライン申請
- ◎居住する住所の市町の受付窓口へ申請書類を提出（郵送可）

◆オンラインによる申請

「やまぐち電子申請システム」

事業案内、
申請手続き
はこちら▶



◆書面による申請の受付窓口

市町名	担当課	郵便番号	所在地	電話番号
下関市	共創イノベーション課	750-8521	下関市南部町1-1	083-231-5838
宇部市	移住定住推進課	755-8601	宇部市常盤町1丁目7-1	0836-34-8480
山口市	農山村づくり推進課	753-8650	山口市亀山町2番1号	083-934-4646
萩市	企画政策課	758-8555	萩市大字江向510番地	0838-25-3102
防府市	政策推進課	747-8501	防府市寿町7-1	0835-25-2256
下松市	地域政策課	744-8585	下松市大手町3丁目3番3号	0833-45-1802
岩国市	政策企画課	740-8585	岩国市今津町1丁目14-51	0827-29-5013
光市	観光・シティプロモーション推進課	743-8501	光市中央6丁目1番1号	0833-72-1532
長門市	企画政策課	759-4192	長門市東深川1339番地2	0837-23-1229
柳井市	地域づくり推進課	742-8714	柳井市南町1丁目10番2号	0820-22-2111
美祿市	地域振興課	759-2292	美祿市大嶺町東分326-1	0837-52-1128
周南市	移住交流推進課	745-8655	周南市岐山通1-1	0834-22-8341
山陽小野田市	シティセールス課	756-8601	山陽小野田市日の出1丁目1番1号	0836-82-1241
周防大島町	空家定住対策課	742-2192	大島郡周防大島町大字小松126番地2	0820-74-1033
和木町	都市建設課	740-8501	玖珂郡和木町和木1丁目1番1号	0827-52-2197
上関町	企画財政課	742-1402	熊毛郡上関町長島448	0820-62-0316
田布施町	企画財政課	742-1592	熊毛郡田布施町大字下田布施3440-1	0820-52-5803
平生町	地域振興課	742-1195	熊毛郡平生町大字平生町210-1	0820-56-7120
阿武町	まちづくり推進課	759-3622	阿武郡阿武町大字奈古2636番地	0838-82-3111